

# 商大構内 仮想空間で案内

## 学生が初企画、22日も

小樽商科大の学生でつくる生協学生委員会は、仮想空間上に同大構内を再現し、進学希望などの高校生をオンラインで案内する「バーチャルキャンパスツアー」を企画した。12日に

初開催し、札幌市や旭川市など道内各地の高校生がオンラインで参加。「大学のイメージがわいた」と好評だった。22日に2回目を行う。新型コロナウイルスの感染予防のため、例年行うオ

ープンキャンパスが中止となっている中、同委員会が初めて取り組んだ。

仮想空間上の大学は同大のサークル創作活動部の学生が制作。スマホやパソコンでキャンパスを「散策」できる仕組みだ。参加者は指定のURLからアプリにログイン。学生のアバター（分身）が学内を案内する。ツアー中にチャット機能で質問もできる。

12日の第1回には高校生計29人が参加。参加者からは「仮想空間上でも大学をイメージできた」「質問タイムで聞きたいことを聞けた」と好評だった。

企画者の1人で同大2年の平間優太さん(19)は「コロナ禍で受験へのモチベーションを保つのが難しい中、オンラインで高校生を支援し、楽しい大学生活を想像してほしい」と話す。

22日は午後1時、2時半、4時の計3回実施。各回45分程度で、2日前までに、<https://sites.google.com/view/oucoop/>で申し込み。問い合わせは電子メール [oucoop.weboc2020@gmail.com](mailto:oucoop.weboc2020@gmail.com)。(日野夏美)



仮想空間上の小樽商大構内の「バーチャルキャンパスツアー」。学生のアバターが案内してくれる

(同大生協学生委員会提供)